



▲多くのご提案とご意見が出されました

10月8日に南部コミュニティセンターで開催した「町長と語ろうオープンミーティング」は、町長に就任して以来、住民の皆様とお話しする初めての機会となりました。その後、各コミセンで順次開催し、多くの方にご参加いただきました。

ミーティングでは、私が播磨町の未来についてお話しした後、参加者の方に、まちづくりへの思いをカードに書いていただき、それについてお答えしていくというスタイルで進行了しました。

日常の困りごとなどの身近なことから、町の将来へのご提案など様々なご意見をいただく中で、特に多かったのは、高齢者の移動手段の確保と見守り対策、それからこれからのまちづくりについてでした。

これまで、私は多くの方とお会いし、たくさんのお話をお聞きしてきたつもりでしたが、このオープンミーティングを通して、まだまだお聞きしなければならない声があることを実感しました。皆様の多様な視点からのご意見をお聞きする中で、今まで感じる事ができなかったことや、新しい発見などが心に響き、もっともっと皆様の声を行政に反映していかなければならないと改めて感じました。

まちづくりは人と人のつながりが大切です。また、人と人のつながりは、「対話」で成り立っています。

住民、企業、議会など、行政が「対話」していかなければならない方がたくさんいらっしゃいます。

「対話」することにより皆様と播磨町の未来の姿を共有し、「ワンチームはりま」を目指して、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせて人と人がつながるまちづくりを実現していきましょう。

播磨町長 佐伯 謙作

※P10～11に関係記事を掲載しています。

播磨町教育広報

教育委員会地域学校教育課
学校教育係 ☎079-435-0545

家庭教育コラム ⑦

子どもたちの
かがやく未来のために
— 家庭でできること —

播磨町家庭教育推進委員会

体験活動を大切に！

子どもたちにとって体験活動は非常に大切なものです。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、実体験の機会や場が奪われ、子どもたちは室内での遊び（イエナカ体験やバーチャルな体験が増えています）。

誰でもやった事がなければ、なかなかできないものです。まして知識や情報の乏しい子どもたちにとって、体験した事がなければできないのは当たり前です。人は成長する過程で、一つ一つの体験による学びを経験し、その積み重ねによって課題を解決し

ていく力（生きる力）を身につけていきます。ICTを活用したバーチャルな体験も時や場合によっては大変有効ですが、「感動」や「達成感」、「生命尊重」等、自然体験や集団活動によって得られる効果は大きいものです。

子どもたちの体験不足が指摘される中、各地で行われる体験活動のイベントに親子で参加してみたいか、がでしょうか。もちろん新型コロナウイルスの感染対策を十分に行った上で…。

楽屋裏

11月5日、大中遺跡まつりが3年ぶりに開催されました。縮小した内容での開催でしたが、播磨町らしいイベントが戻ってきたことにホッとしました。そのステージで、播磨町のマスコットキャラクターいせきくんとやよいちゃんの着ぐるみが、新しくなってお披露目されました。ちよっぴり幼い顔になって、ちよっぴりぎこちない動きで「はりま☆土器ドキ☆ダンス」を踊り、子どもたちに囲まれて記念写真を撮りました。大中遺跡まつりのレポートは次月号でお伝えします。

(宮)

「就任のあいさつ」

播磨町副町長 平野 祐次



令和4年10月1日付けで播磨町副町長に就任いたしました平野祐次でございます。副町長の責任の重さや役割の大きさを日々感じ、身の引き締まる思いです。

町制施行60周年という節目の年に、佐伯町長のもと、新たに部課制となった播磨町において仕事ができますこと、たいへん光栄に思っております。

播磨町で仕事をできるようになって、役場内がとても明るく、若い雰囲気にも包まれ、より成長していく可能性を秘めた町、魅力が詰まった宝箱のような町、というのが私の最初の印象です。

そうした播磨町をより前へ推し進めていくためにも、これまでの経験や知見を生かし、お世話になった多くの方々との出会いを大切にしながら、職員の皆さんと一緒に、住民の皆さまや播磨町に関わる全ての方々との笑顔のために、全身全霊、万里一空の思いで、自分の役割を果たしていきたいと考えております。

これからいろいろなイベントや行事などで、たくさんの方々とお会いできることを楽しみにしております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

オープンミーティングでファシリテーターを務めました

令和4（2022）年10月に4つのコミセンで「町長と語ろうオープンミーティング」が開催されました。町長を囲んで、これからの播磨町について対話する機会となりました。

オープンミーティングは播磨町が協働のまちづくり宣言を发出してから、初めての行政と町民との対話の場です。今回、全てのオープンミーティングでファシリテーターをつとめました。ファシリテーターは、話し合いの場がスムーズに進むようにサポートする役割です。一般的に、行政と町民との話し合いの場では、話したいことがある方が順に挙手し、意見を話すことから始まります。しかし、その場合は、特定の人の話に終止したり、どうしても発言できる方に限りがあります。そこで、今回のオープンミーティングでは、「対話カード」を用いて、参加いただいた皆さんに「町長に聞いてみたいこと、話してみたいこと」を書いていただきました。それらをまとめながら、双方向



▲「対話カード」から全体の意見をまとめて進めました

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする
まちアド通信 協働推進課住民協働係
☎079-435-2364